

# 平成29年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	飯山激特竣工30周年記念シンポジウム	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	長野支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業			事業区分	講座、セミナー、育成

## 1. 事業目的

昭和57, 58連年の水害を受け実施された千曲川・樽川河川激甚災害対策特別緊急事業(激特)の竣工から30年。いまだ全国各地で水害・土砂災害が頻発し、甚大な被害が発生していることから、この節目を機に先人の行動を学び、地域防災を考え理解を深める場とするものである。

## 2. 事業実施体制

主催: 飯山市、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所  
 協賛: 一般社団法人北陸地域づくり協会  
 協力: 飯山市教育委員会、飯山市立常盤小学校・木島小学校  
 後援: 長野県、長野県河川協会、長野県治水砂防協会、千曲川改修期成同盟会、北信地域千曲川等改修促進期成同盟会、千曲川・犀川水防連絡会、千曲川流域学会、(一社)長野県測量設計業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部長野地域委員会、(一社)日本補償コンサルタント協会関東支部長野県部会、(一社)長野県建設業協会、ほか報道各社

## 3. 事業実施概要

日時: 平成29年11月23日(木・祝) 13:20~16:00

場所: 飯山市文化交流館 なちゅら

プログラム:

- ▶ 基調講演「水害対策の今昔ー飯山水害後の進展ー」  
吉谷 純一(信州大学工学部教授)
- ▶ 成果発表(小学生による治水に関する研究発表)  
① 飯山市立常盤小学校 ② 飯山市立木島小学校
- ▶ パネルディスカッション「水害に学び、防災を考える」  
コーディネーター: 豊田 政史(信州大学工学部准教授)  
パネリスト: 平野 弘蔵(木島小学校校長)、兼子 喜男(飯山市消防団)、  
中村 まゆみ(水害経験者)、足立 正則(飯山市長)、  
堤 達也(千曲川河川事務所長)

### ▶ パネル展

昭和57,58年洪水を振り返る/激特事業の概要/災害への備え など

参加者: 約300名

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

近年、大きな災害の発生、気象変動が顕著な傾向が続き、あらためて自らの地域を見つめ直し、安全について考える必要性が高まっている。  
 激甚化する水災害へのハード的な対策の限界を認識し、行政・自治会・住民はそれぞれの立場で今後どのように行動すべきか、過去の災害から得た教訓を通じて、今後の地域防災について考える場を提供できた。また、幼少期からの防災教育の重要性を鑑み、学校における防災教育を支援する一助となった。



基調講演



小学生による成果発表



パネルディスカッション



パネル展示